

「ビジネス・マネジメント」シラバス

学科	商業科	学年	2 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	ビジネス・マネジメント（実教出版）								
副教材等	ビジネス・マネジメント 準拠問題集（実教出版）								

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせて、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ① ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 ② ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けているか。	(2)(3)(4)(5)(7)(8)
思考・判断・表現	ビジネスにおけるマネジメントをはじめとした様々な知識などを活用し、ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えているか。	(2)(3)(6)(7)(8)
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経営資源のマネジメント、新たなビジネスの創造と展開などに責任を持って取り組もうとしている。	(1)(2)(5)(6)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
単元別小テスト	(3)小テスト	
課題	(4)週末や長期休業中に指示する課題 (5)日々のプリント	
ノート提出	(6)ノートの提出状況	
ペーパーテスト	(7)定期考査	
検定試験	(8)検定試験	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	Introduction 第1章 ビジネスの創造	・『ビジネス・マネジメント』は、新しいビジネスの創造という活動を軸にして、さまざまな科目と相互に関連する総合的な科目であることを理解する。 ・ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解する。 ・マネジメントの意義と課題について自らの考えをもち、ビジネスの適切な展開と関連付けて学ぶ。 ・マネジメントについての意識と意欲を高め、組織の一員として他者と協働する力を身に付ける。 ・ビジネスの創造について理解する。	(3)
	第2章 ビジネスの組織化	・組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解する。 ・組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。 ・組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化について、他者と協働する力を身に付ける。	(1)(3)
二 学 期	第3章 経営資源のマネジメント	・経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解する。 ・経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。 ・経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用について、他者と協働する力を身に付ける。	(1)(4)
	第4章 ビジネスの変革	・ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解する。 ・ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善をおこなう。 ・ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開について、他者と協働する力を身に付ける。	(3)
三 学 期	第5章 ビジネスと社会	・企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解する。 ・企業の秩序と責任に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。 ・企業の秩序と責任について自ら学び、企業の秩序を維持し、責任を果たすことについて、他者と協働する力を身に付ける。	(4) (8)

備考 (2)(3)(5)(6)(7)は、全ての単元において評価項目として用いる。